

君津市商工・観光アクションプラン素案（概要版）

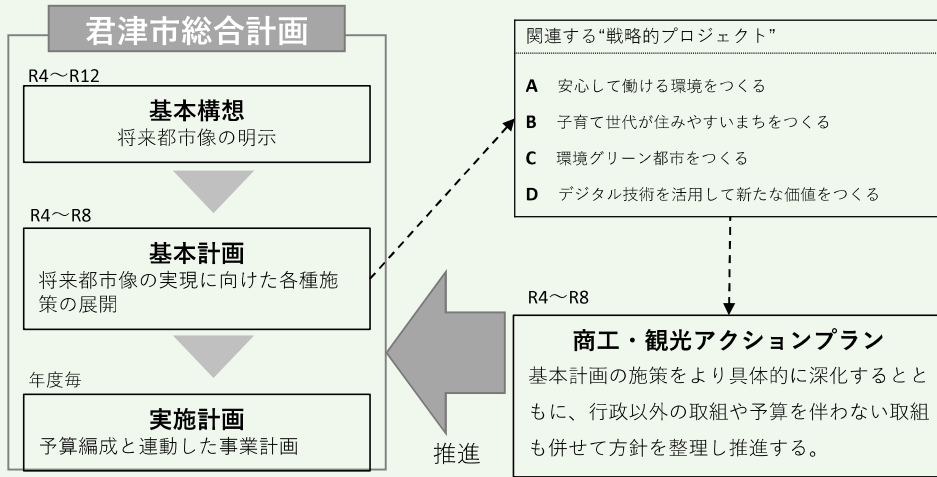
1-1 目的と背景

商工業及び観光業は、地域の暮らしの基盤であり魅力の源泉で、市内産業の持続的成長が市の発展に欠かせません。しかしながら市内産業をとりまく環境は大きく変化しており、感染症対策を徹底した経済活動や脱炭素社会への転換、人口が減少していく中で持続可能な社会をどう実現していくかが大きな問題となっています。

そのためコロナ禍で落ち込んだ市内経済をいち早く回復させるとともに急速に変化する事業環境等に対応するため、産業界との連携をより一層強化していかなければなりません。

本アクションプランは「君津市総合計画」の基本構想・基本計画を推進し、また、人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化とその好循環の維持を目指す地方創生の実現や2050年脱炭素を目指した「環境グリーン都市宣言」の推進のため、商工会議所や観光協会等、関係機関と連携した具体的取組に関する行動計画を定めるものです。

1-2 位置づけ



1-3 計画期間

	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)
基本構想	→								
基本計画	→								
アクションプラン	→								
実施計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2 課題の整理

～ 商工業の課題 ～

広域的な課題整理

【マーケットの縮小】

▷より広いエリアからの需要獲得が必要

【脱炭素】

▷技術的なイノベーションや相当の設備投資が必要

【新型コロナウイルス感染症対応】

▷新しい生活様式に対応し、デジタルで安全かつ効率的に稼げるビジネスモデルへ

地域的な課題整理

【労働力の確保】

▷地元出身者・若者・女性・シニア層・外国人等の一層の労働参加が必要

【企業用地の確保】

▷用地不足により進出を断念するケースがある

【地場産品の販売促進】

▷より魅力的なPR手法や販売環境が必要

～ 観光業の課題 ～

【インバウンドへの対応】

▷国内市場縮小による海外旅行客増への期待

【観光産業における体質強化】

▷観光資源の付加価値向上、ニーズへの対応

【観光資源としての「まち」の活力と担い手】

▷地域の活性化が観光客を呼び込むという視点

【滞在時間、観光消費額の改善】

▷君津を目的地としてもらう取組が必要

【着実な民間投資と域内、広域での連携促進】

▷地域一丸となった取組が求められている

【君津市の観光イメージの確立と認知度向上】

▷都心からのアクセス性など依然認知不足

【多言語化やSNS等新たな情報発信手法への対応】

▷SNS等有効活用の余地がある。

3-1 目指すべき方向性

(1) 商工業における目指すべき方向性

あらゆる産業において「脱炭素」と「デジタル化」は重点的に取り組んでいくべきテーマであり、商工会議所や金融機関等の業界団体と連携しながら、設備投資や資金調達等の支援により推進していきます。また雇用のミスマッチを解消するため、企業誘致による雇用の創出、働き方改革の推進やマッチングの強化等に取り組みます。さらに創業も含む経営全般の課題に対して伴走型の支援を実施することにより、中小企業の経営安定と活性化を図ります。

(2) 観光業における目指すべき方向性

都心からの立地の良さを活かし、旅行形態・消費者ニーズの変化やマイクロツーリズムへの注目など時代の変化を的確に捉え、総合産業として農業等其他分野との連携を強化しながら取組を進め、繰り返し君津を訪れてくれる人を増やします。さらに、これまでの第1次・第2次君津市観光アクションプランでも掲げてきた「観光客の誘客と宿泊・滞在の促進及び滞在時間の長時間化」を引き続き推進していき、域内での観光消費額の増加を目指します。

3-2 施策体系イメージ

		基本計画（経済と環境が調和したまち）7つの柱	商工・観光アクションプラン
		7つの柱に対応した「分野」を設定	
基本構想（将来ビジョン・デザイン）	商工業振興	持続的な経済成長の実現	A C 【競争力強化】 【新産業創出】 【脱炭素】
		メイドインきみつの全国展開	【販売促進】
		地域を支える事業者の経営強化	A D 【経営安定】 【創業支援】
		働きやすい環境づくり	A 【働き方改革】 【マッチング】
		企業誘致の推進	A 【企業誘致】
観光振興	観光資源の磨き上げ	C 【魅力の掘起し】 【体験型コンテンツの拡充】 【おもてなし体制の整備、強化】 【DXへの対応】 【広域連携の推進】	
	観光情報発信の強化	【デジタル情報発信強化】 【紙媒体情報発信の工夫、刷新】 【効果的なイベント】 【イメージアップ戦略】	

君津市商工・観光アクションプラン素案（概要版）

4 具体的な取組

商工業振興

持続的な経済成長の実現

【競争力強化】

設備投資の推進や労働生産性の向上、DXの導入等を支援します。

企業立地促進事業

先端設備等導入計画の認定

DX活用促進策の検討・新設

【新産業創出】

奨励制度による企業誘致や新産業創出のための調査研究を行います。

企業立地促進事業

きみつ魅力あふれるお店づくり事業

用地を必要としない産業にかかる調査・研究

規制緩和にかかる調査・研究

【脱炭素】

脱炭素に資する設備投資を支援するとともに、理解を深めるためのセミナー等を開催します。

企業立地促進事業

中小企業融資制度利子補給事業

産業支援センター運営事業

中小企業・小規模事業所の脱炭素・SDGsへの取組推進

メイドインきみつの全国展開

【販売促進】

ふるさと納税制度やPRイベント等を通して、特産品の販売促進を図ります。

ふるさときみつ応援寄附金事業

物産館改修事業（仮）

きみつの名産応援事業

地域を支える事業者の経営強化

【経営安定】

資金調達の支援や経営全般の相談事業を実施します。

中小企業融資制度及び利子補給事業

産業支援センター運営事業（再掲）

チャレンジ企業支援センター事業、よろず支援拠点事業

【創業支援】

セミナーや専門家による相談を通じて創業に必要な知識の習得を支援します。

特定創業支援事業

産業支援センター運営事業（再掲）

きみつ魅力あふれるお店づくり事業（再掲）

チャレンジ企業支援センター事業、よろず支援拠点事業（再掲）

働きやすい環境づくり

【働き方改革】

多様な働き方を選択できるようテレワークの推進や勤労者総合福祉センターのサービス強化を図ります。

中小企業テレワーク導入支援補助金

君津勤労者総合福祉センター等改修事業

君津市事業所内保育施設支援事業補助金

【マッチング】

市内企業の情報発信の強化と職業相談の充実により、雇用のミスマッチを減らします。

君津版ハローワーク管理運営事業

地元採用促進事業

地元で働く魅力発信事業

企業誘致の推進

【企業誘致】

奨励制度や企業訪問により、企業進出を促進します。

企業立地促進事業（再掲）

観光振興

観光資源の磨き上げ

【魅力の掘起し】

各地区の観光資源を連携させながら、地区全体の魅力向上を目指します。

観光資源の再評価、新たな魅力の掘起し

君津ならではの「食」の創出

スポーツ、文化・芸術イベント等による交流人口の拡大

郡ダムの上水スキーでの活用推進

ミツバツツジの活用推進

【体験型コンテンツの拡充】

旅行者の志向の変化に対応した取組を進める。

グリーンツーリズムの推進

エコツーリズムの推進

観光モデルコースの整備

【おもてなし体制の整備・強化】

withコロナ時代の旅先の安心・安全など、旅先の環境整備に取り組みます。

観光トイレ等観光環境の整備

観光地域づくり法人（DMO）の設立検討

公共交通の利用促進

【DXへの対応】

進化するデジタル技術の活用策を検討します。

市場調査支援ツール導入の検討

最先端ICT（VR/AR、ビッグデータ等）技術の活用検討

【広域連携の推進】

近隣市町と里山、文化、芸術を活かした連携に取り組みます。

房総里山プロジェクトの推進

アクアラインイースト地域での連携の推進

観光情報発信の強化

【デジタル情報発信強化】

ソーシャルメディアを活用します。

新たな情報発信手段の検討、導入

H P等発信情報のバージョンアップ

インバウンド向け情報発信手法の調査・研究

【紙媒体情報発信の工夫、刷新】

旅ナカの情報獲得手段として、パンフレット等は依然有効です。

訴求力ある観光パンフレットの検討、作成

【効果的なイベント】

S N Sによる情報拡散を狙ったイベントの実施

【イメージアップ戦略】

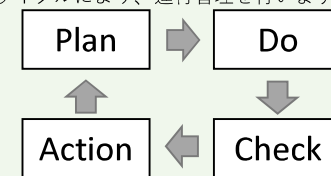
明確なイメージの確立とその向上に取り組みます。

積極的なロケ支援

観光イメージの確立

5 推進体制

P D C Aサイクルにより、進行管理を行います。



商工・観光アクションプラン評価委員会により、1年ごとに施策の数値目標に対する達成度の評価、検証を行います。なお、市事業については、原則として君津市総合計画の実施計画の検証に依拠します。